



日本共産党長岡京市議員

**小原 明大**

<http://blog.goo.ne.jp/ohara1095/>

議員団控室

tel.955-9551 fax.955-9741

e-mail jcp-n@leto.eonet.ne.jp

自宅 tel.&fax.957-7142

宣伝カーで訴えていると、小学生が「何しゃべってんの?」と。「地球温暖化問題うやで」と言うと、「その車がCO2出すやん」。…ごもつともです。

## 後期高齢者医療制度 国へ廃止を、市へ改善を求めて

75歳以上を別枠の保険に強制加入させ、すべての世代に重い負担を強いるこの制度。問題点を毎議会追求し、これまでに次の改善を約束させました。

- 保険料が払えない人の相談にしていねいに応じ、一律的な保険証の取り上げは行わない。
- 75歳以上の基本健診はこれまで同様に受診できる。非課税者と70歳以上の受診は無料。
- 組合健保・政管健保・共済などの被扶養者の保健指導は依頼があれば本市でできる。
- 申請しなければ後期高齢者医療保険になる65歳から74歳の全障がい認定者に通知を送付し、保険選択ができる。

しかし、人間ドック助成が打ち切られたり助成額が縮小するなど、問題はたくさんあります。小手先だけの見直しではなく75歳以上を区別するこの制度は廃止しかありません。

### 国へ廃止の声を

共産、民主、ほうれんそう

共同で意見書案を提出



党議員団は、後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書案を他会派によびかけ、民主フォーラム、ほうれんそうの会と共同で発議しました。しかし、自民党系・公明党議員が反対し12対12の同数で議長判断で否決となりました。

公明党議員の反対討論（概要）

「後期高齢者医療制度は、国と現役世代・高齢者の負担割合を透明化し、加入者全員が負担能力に応じて支払うものです。これまで制度の違いにより払わずにすむ人がいましたが、この課題が解決されます。安心の医療のために、この制度は堅持すべきです。」

## まちの耐震化に具体策を

**公共施設** 耐震診断は、小中学校は昨年度に完了し、保育所は今年度に行われますが、他にも公共施設は数多くあり、自治会館なども防災上重要です。「まず全ての診断を済ませるべき」と求め、市長は「実態把握を急ぐ。小中学校の耐震改修は緊急に着手する」と答弁しました。

**市民の住宅** 耐震化をすすめるためには、費用負担の軽減が必要だと指摘。最高60万円にとどまる助成額の上積みを求め、家屋の一部だけの耐震化にも助成することや、家具の転倒防止工事への助成などを提案。相談窓口の充実も求めました。市長は「調査研究し、できる限りのことをする」と答弁しました。

## ほとんどの加入世帯で

### 今年度は国保料が引き下げ!

値下げ例:

40歳～64歳の総所得350万円区分

→年間7800円

65歳～74歳

→年間5100円

共産党議員団は、高すぎる国保料の引き下げを求めてきました。

今回、ほとんどの世帯で引き下げが実現したものの、所得が最も低い層と高い層で引き上げがされています。後期高齢者医療制度の保険料と合わせると負担が上がっている世帯もあります。ひきつづき、国保料の引き下げを求めてがんばります。

## 府営水道値下げ分は市民に還元を!

乙訓の住民の声が京都府を動かし、府営水道の料金が「1トンあたり5円」値下げになりました。これで長岡京市は約4700万円の負担軽減になりましたが、市民の水道料金の値下げは行わず、約1500万円を水道会計から一般会計に繰り戻しました。日本共産党は、「水道料金値下げの市民の願いに背を向けるな」と指摘し反対しました。

### 大山崎町

## 府営水問題で京都府を提訴



大山崎町が、京都府を提訴しました。

京都府の条例には「府営水道の水量は町が府に申請する」とありますが、大山崎町が条例に沿っておこなった水量申請を、府は受理せず一方的に水量を決定、料金を町に請求しました。府の条例違反により、約1億3千万円の被害を受けたというのが、大山崎町の立場です。この裁判は、長岡京市の水道料金にも大きくかかわるだけでなく、全国の注目を集めています。

国土交通省が、「淀川水系流域委員会」の意見を無視して4つのダム建設計画を発表したように、大型公共事業に市民の声が生かされていないことが、過大な水需要予測につながり、住民に高い水道料金が押し付けられるという構造があります。これが乙訓の住民を苦しめている高い水道料金の根本原因です。

この裁判は、市民本位の水政策に転換させるチャンスです。

## 住民税65才以上の年金天引き

市税条例の改正で、来年10月から65歳以上の年金を受けている市民が住民税を年金からの天引きされることになりました(年金額が年18万円以下・住民税額が老齢基礎年金額を超える・障害年金・遺族年金などは対象外)。長岡京市では、推定で

約3千人が対象市民となります。

党議員団は、①本人の意向をふまえない機械的な天引きは、国民の納税義務と納税方法を選ぶ権利を奪う ②窓口相談にこられた市民と納税方法を相談するきめ細かな対応ができなくなる としてこの改正に反対しました。

## 「福祉先進自治体」を自負するなら

市長は「市の福祉は関西圏で8位、今後も福祉を進めていきたい」と言いましたが…。

### 新駅のために福祉・医療後退させない約束を

今年度、新駅整備事業に予算がつき多額の税金が使われるもとの市民生活への影響について、「市民の視点で事業展開を行い、決して新駅のために福祉を削減することは考えていない」と市長に約束させました。

### 市民生活に制度のはざまをつくらない対策を

生活保護や障害年金の要件に合わず、厳しい生活を強いられている市民へ支援を、と制度の改善を求めました。トイレ水洗化工事の高齢低所得者への補助については検討すると答えたものの、その他の提案には「法令に沿ってやっている」「受益者負担の観点から難しい」など、市民の窮状から目をそらす姿勢にとどまりました。

# もったいなくて!



### 守心して働けるよう保育の充実を

構造改革の流れで生活が不安定で非正規雇用が増加し、若い世代では「共働きをせざるを得ない」世帯が増えています。そうした世帯の子育てをバックアップするために、保育所待機児をなくすことは急務です。今里保育所の代替でつくる保育所の定員枠の拡大などを求めました。



## 住と自然を守るまちづくりを

### キクイムシから樹を守れ

向日市のはり湖山にカシノナガキクイムシが発見をされ14本のコナラに被害。うち1本については被害も大きく伐倒されました。

このキクイムシは、シイの木などに発生し樹木の伝染病とも言われています。里山や社寺林にも拡大しつつあるとのこと。

環境保全を目的とし、西山や身近な緑を守る手立てと周知を求めました。

### 市民の不安に応え

#### 第二外環道への具体策を

第二外環道路建設にあたりトンネル残土をどうするかが課題でしたが、奥海印寺西代の農地を国交省が買取ることになりました。

残土をそのままにせず、市民の声を活かした景観になじむ空間にすることと、工事車両や安全対策問題、市民の不安や要望、疑問など出しやすい行政窓口をつくるよう求めました。

### 開発前・後の行政指導を

「開発」はいつも市民には寝耳に水で、周辺住民からの住環境破壊の苦情が絶えません。開発業者が周辺住環境より利潤を優先し、開発後のトラブルには責任を持たないからです。

まちづくり条例の目的には「良好な住環境の形成」とあります。行政がどれだけ条例に沿って指導を徹底するかで決まります。みんなで声を上げましょう!



## 地上デジタル放送の 受信対策を求め 意見書が国へ

デジタル対応の受信機がないと2011年7月にテレビが見られなくなりますが、普及は進んでいません。共産党議員団の呼びかけで、国民・市町村の負担軽減、地方相談窓口の設置、アナログ放送打ち切り期限の検討を求めた意見書が国へと提出されます。

6月議会で態度の分かれた議案・意見書案の態度(他の議案・意見書案は全会賛成)

市税条例の一部改正の承認 反対=共産・ほうれんそう 賛成=その他の会派 結果=可決

平成20年度水道会計補正予算 反対=共産 賛成=その他の会派 結果=可決

後期高齢者医療制度廃止を求める意見書 反対=平成・公明 賛成=共産・民主・ほうれんそう

### 3月議会 一般質問

今号で紹介した以外に党議員団が質問した主なテーマです。

#### 行財政・市民協働など

- ・山城人権ネットワーク推進協議会設立にかかわる問題点の指摘と協議会への不参加を。
- ・男女共同参画計画の進め方と職員体制の強化を。
- ・広報「ながおかきょう」と市民公募を公平・透明に。
- ・市役所内職員定数と雇用形態の問題点の改善を(保育士、再任用・嘱託など)。
- ・委託契約の違反と偽装請負の是正を(学校給食・市駐輪場について)。

- ・公共施設ゴミ処理と事業系ゴミ処理の適正化について。
- ・府と市町村の税務共同化は市民への責任放棄であり府言いなりの参加は容認できない。

#### 福祉

- ・障害者支援制度や生活支援制度などの拡充を。
- ・子育て家庭の経済的支援を。
- ・次期高齢福祉・介護保健事業計画と障がい福祉計画に向けた高齢者・障がい者の実態調査を。

- ・障がい者福祉計画を実態に見合った実効性のある計画に。

#### 教育

- ・小学生から高校生が自由に活動できる場所づくりを。
- ・子ども会育成指導員が活動できる拠点づくりを。

#### 医療

- ・医療費適正化計画(医療費削減)の問題点の改善を。
- ・予防対策として特定健診、がん健診の改善・充実を。

**あなたのご意見を  
きかせてください。**

党議員団(直通) 電話955-9551 FAX955-9741  
e-mail jcp-n@leto.eonet.ne.jp

よろしければおきかせください。

お名前

ご住所

お電話